日本共産党

区民と力合わせ くらしと平和守る大きな流れ

震災から5年、いまだ復興までならない被災地の悲惨さを実感（希望の牧場にて 4月11日）

2016年度の予算を決める第一回定例議会が3月24日終了しました。日本共産党は、戦後71年目の年を迎え、くらしと平和を守る切実な区民の願いを実現するため、区長提案の予算案に対して予算修正案を提出してがんばりました。

区議会で議論した区政の焦点、予算案など共産党区議団の活動をお知らせします。

憲法に反する安保法制（戦争法）の強行によって、住民の生命、財産、自由、私たちの幸福追求権を覆す立憲主義の危機を迎えており、足立区議会として反対の態度を示す時です。

戦争法が施行され、国民の戦争する国づくりへの危機感、平和を求める声が高まる中、第一回定例会での わが党の区長の政治姿勢に対する代表質問に、区長は「私は二度と悲惨な戦争を繰り返すことの無いよう、国民の安全を守り、国際社会の平和と安定に貢献していくことは、今を生きる私どもの重要な役割であると認識しております」と答弁しました。

北朝鮮ミサイル発射
足立区議会が抗議決議を全会一致で可決

教育勅語も暗記してくれたらいい…
時代錯誤の発言

本会議では自民党議員から、教育勅語を「補助教材として」使うよう求める発言や、予算委員会では中学校の百人一首大会を例にとり「教育勅語も暗記してくれたらいい」などと戦前の軍国教育の柱となった「教育勅語」を礼賛する時代錯誤の発言が相次ぎました。自民党議員の頭の中は、70年以上前にもどってしまったのではないでしょうか。

「保育所つくって」の声と共産党の論戦が動かした
認可保育園、大増設へ

「保育園落ちたのは私だ」「会社辞めなくちゃならない」「何が一億総活躍だ」と安倍政権への怒りが集中し、国会へ若い子育て中の親御さんたちが駆けつける事態になりました。ネットで呼びかけられた署名は2万7千名をこえ、国会に届けられました。

足立区でも第一次不承諾が１７５２人になり、異議申し立てが出されました。

足立区が、長年保護者のニーズである「認可保育所増設」に背を向けるなか、日本共産党はあきらめずに増設を求めてきました。この論戦と保育所作っての保護者などの運動が区政を動かし、やっと認可保育園の大幅増設へと舵をきりました。27年度から3年間で16園の認可保育園増設へ計画を変更、１３２５人の定員増になります。

「保育園落ちたのは私だ☆」と国会に駆けつけたママ、パパ
（しんぶん赤旗 提供）

熊本地震、救援募金へのご協力をお願いします

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団　Tel.03-3880-5770　Fax.03-3880-5682
足立区議団メールアドレス　acmp@blue.ocn.ne.jp
足立区議団のホームページ　http://www.adachi-jcp.jp/

日本共産党 足立区議団ニュース
2016年 第1回定例区議会報告　No.174

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者　ぬかが和子
編集責任者　浅子けい子

予算修正案提出

ためこんだ基金1303億円 お金の使い方変えて
くらしと平和・個人の尊厳を守り発展させる足立区に

日本共産党

2016年度予算は、一般会計で2730億円、積立基金は1303億円とどちらも史上最高となり、区民の暮らしを守り応援する余力は十分にあることが明らかになりました。しかし、厳しさを増す区民のくらしを支える姿勢は弱く、アベノミクスで格差と貧困が拡大するなか、住民福祉の向上を本旨とする自治体の役割が問われます。日本共産党は、ムダ使いをなくし、お金の使い方を変えれば区民の願いが実現できる予算修正案を提出しました。自民・公明・民主などの反対で否決されましたが、今後に生きる提案です。

区長提案の予算総額より一億円減額して切実な願いが実現できます！

〔概　要〕

Ⅰ　平和と人権

●平和資料館の建設 戦後71年目を迎え平和の尊さを後世に伝える（計画書）	100万円
●被爆者見舞金の支給 23区で唯一支給されていない足立区で、21000円支給する	310万円

Ⅱ　ひと　出産・育児支援、教育の充実を図ります

●不妊症治療費助成の上乗せ	8230万円
●保育料の負担軽減	3041万円
●学校給食の負担軽減	3365万円
●特別支援教室拠点校の配置	141万円
●少人数学級の推進	5100万円
●子ども医療費助成 18歳までの拡大	2億6385万円

Ⅲ　くらし　区民の暮らしを支える施策を広げます

●介護職人材不足対策	8610万円
看護師人材不足対策	4305万円
学童保育職員不足対策	794万円
●若者・若年ファミリー家賃助成	1080万円
●障がい者のグループホーム建設を支援する	2000万円
●スーパープレミアム商品券を教訓生かして改善し発行	2億3712万円
●紙おむつ支給助成の拡大	1800万円

Ⅳ　まちづくり　住民が主役のまちづくりを進めます

●民間マンション建設に補助金 （千住一丁目再開発）投入を中止	▲9億6740万円
●コミュニティバス短期路線の実現	1500万円
●住宅リフォーム助成の創設	4000万円
●耐震改修・除却助成上乗せ復活	1億8000万円
●放射能防護・希望者検査事業	146万円
●福祉施設送迎車のエコ化支援	1000万円

Ⅴ　行財政　むだを省き財源を区民施策に回します

●戸籍の外部委託の中止	▲2400万円
●国保の外部委託の中止	▲1億7654万円
●議員報酬の10％削減	▲5101万円

ムダ使い、サービス切りすて許さない！

保険料値上げで区民生活に追い打ち

区民生活は、可処分所得が下がり続け、２０１４年には消費税が８％に引き上げられたことで30年前の水準に落ち込む中、区は国保料、後期高齢者医療保険料などの値上げを強行、負担増に追い打ちをかけました。

マンション建設に税金40億円！（千住一丁目再開発）

千住一丁目市街地再開発事業は、都市開発法に基づき「公共の福祉に寄与」するとして、多額の税金を投入しようとしています。当初29億円が40億円に膨れ上がりました。しかも公益施設は０・７％にすぎず、その他は儲けのために活用されます。これでどうして「公共の福祉に寄与」すると言えるのでしょうか。

はるかぜ　新規路線に財政支援して導入を

区の交通過疎地域を解消するとした「交通基本計画」で５年以内に整備するとした新規路線は一つもできていません。日本共産党は事業採算性がとれない路線には「交通権」を保障する立場で、新車購入費補助など支援が必要と提案しました。

国保、戸籍　区の姿勢に怒りの声

４月から戸籍も国保も新たな外部委託が始まりました。戸籍は同じ富士ゼロックスシステムサービスが５年間で７億１千万円という金額で、再び選定されました。これよりも安い金額を示した企業がプロポーザルで落ち、富士ゼロックスシステムサービスが選定された要因は、「労働関係法令等が遵守されている」という項目の評価が他社に比べ群を抜いて高かったことです。戸籍法違反、労働法令違反で繰り返し是正を指摘されマスコミにも報道され社会的信用を失墜させた企業が法令を遵守しているという理由で受託するなど、どう説明しようと理解を得られるものではありません。

９割の業務を外部委託する国保は、５年間で20億円余の税金の投入をするものです。業務を請負う共同企業体（ＪＶ）を構成しているベルシステム24は他区で情報漏えい事故を起こし、足立区でも指名停止処分を受けました。このような企業を含む共同企業体（ＪＶ）に区民の個人情報など安心して任せることなどできるものではありません。

法令違反を繰り返しても、指名停止になっても企業委託に突き進み、高額な税金を投入する区の姿勢には区民から強い憤りと怒りの声が上がっています。

じゃぶじゃぶ池まで廃止!?

この間、区には「じゃぶじゃぶ池をふやして」と要望が届けられてきました。

その声を逆手に取るかのように、今回「偏在解消」の名のもとに６ヵ所のじゃぶじゃぶ池を廃止の対象にしていることが明らかになりました。

区は８月以降に具体化していくとしていますが、本当に廃止していいのでしょうか。

なお、廃止対象は次の公園です。

○東綾瀬せせらぎ水路　○東和親水公園　○下の公園
○新西新井公園　○中郷公園　○尾竹橋公園

区民の願いかかげて前進！

婚姻歴のないシングルマザーの「みなし寡婦控除」の適用数年越しで実現！

同じシングルマザーでも、婚姻歴がない（未婚の母など）場合、寡婦控除が受けられない問題について、足立区議会でも保育料の「みなし寡婦控除」の適用を求める陳情が数年前に「全会派一致」で採択されていました。しかし、区は全く改善をしようとしてきませんでした。

日本共産党は、繰り返し「保育料などのみなし適用をすべき」と追及。今議会で条例や規則を改正し、４月から保育料・学童保育料・幼稚園保護者の負担軽減にみなし適用をおこなうことになりました。また、国に対し「婚姻歴がなくても寡婦控除を行うよう求める意見書」も全会派一致で採択されました。

足立の給付型奨学金がはじまります

日本共産党は給付型の奨学金を繰り返し求めてきました。最近、他会派も求めるようになり、足立区の制度が前進しました。

特に経済的な理由により就学が困難で、かつ成績優秀で心身健全であると区長が認める者は貸付金額の半額（１００万円）を上限にして償還が免除されます。また、償還も期間が10年から15年以内に延長となりました。５月の連休明け頃には、中学３年生、高校３年生全員に学校から説明、申請書が渡される予定です。更に、子どもたち全員が経済的な理由で夢が断たれない足立区にするため、力をつくします。

トイレの洋式化　平成35年度までにすべての学校で

長年寄せられていたトイレの洋式化を行うことが決まりました。日本共産党は学校トイレの改善を15年以上前から求め続けてきました。区は当初は否定してきましたが、今年になって各党も要求するようになり、ついに実現することになりました。

区役所受付に手話通訳、毎日配置

区役所アトリウム受付の手話通訳は、週３回しか配置されていませんでした。聴覚障がい者からは「もっと増やしてほしい」と声が寄せられていました。

日本共産党は、その声を議会に繰り返し届け、４月から毎日配置に増えることになりました。

老人ホーム殺人・高齢者虐待事件に関する緊急申し入れ（2月23日）

有料老人ホーム「Ｓアミーユ川崎幸町」での殺人事件を受け、区内施設の実態調査や国・都・区が一丸となって介護従事者の待遇改善などで高齢者虐待対策を強めるよう要望しました。

住民追い出しの優先設備路線は見直しを（2月5日）

「2016年度から10年間の足立区内の優先整備路線（案）」に対し、道路現況がない住宅密集地域に道路をつくるなど住民追い出しにつながる計画は見直しするよう要望しました。

「教育大綱」で申し入れ（1月25日）

足立区の教育に関する初めての基本的な姿勢を示す「教育大綱」について日本共産党足立区議団は、意見を提出しました。

新年度予算の回答・復活折衝（1月7日）

日本共産党足立区議団が昨年提出した新年度予算の要望に対して、区長からの回答がありました。それを受けて懇談し、復活折衝を行いました。

区民の願い届け 自治体のあり方を指摘して

7人全員が本会議で討論

第一回定例議会が終わり、59件の区長提出議案の採決が行われました。日本共産党区議団は区民にとっていいものは賛成、「国保料の値上げ」「統廃合で学校解体」「外部委託」など問題のある議案にはきっぱり反対し、議会としてのチェック機能を果たしてきました。今議会は、７名の議員団全員が最終本会議で討論にたち、区民の願いをかかげて奮闘しました。

浅子けい子

山中ちえ子

はたの昭彦

ぬかが和子

鈴木けんいち

西の原えみ子

針谷みきお

保育士の民営化・欠員、国保の外部化による定数削減は許せない！

ぬかが和子

区は新年度の区職員定数を大幅削減。その主なものは「国保事務のＮＴＴデータへの企業委託（36名）」「公立保育園の民営化」によるもので、保育では８年間新規採用がなく22名の欠員を放置しています。子どもや区民のサービス低下、外部委託により経費は逆に増大させる姿勢を改めるよう強く求めました。

過酷な国保料の値上げ中止を

はたの昭彦

区は16年連続の値上げを提案、１人当たりの平均保険料はついに11万円を超えます。これに対し国からの６億円の財政支援金を一般会計の穴埋めに使うのはやめ「保険料を払うのが精一杯で病院に行けない」との区民の声に耳を傾け値上げの中止を強く求めました。

花畑保育園廃止と民営化は認められない

山中ちえ子

区は、ＵＲ団地再生に伴い、区立花畑保育園を廃止、移転して民営化を提案。①区立で従来の場所に存続するという住民との約束を破るもの②「保育需要の増加」というなら増設で対応すべきであり、移設民営化ではない③健やかな子どもの成長にはなくてはならない保育園と主張し、廃止すべきではないと強く迫りました。

保育料 23区で一番高い低所得者世帯に負担軽減の実施を求める

浅子けい子

足立区の低所得者世帯の保育料は23区で一番高く、日本共産党は、負担軽減を提案しました。委員会では自民・公明・民主などが反対し否決したのに対し、子育て支援の立場にたち考え直すよう求めました。

戦争法廃止の請願は採択を

針谷みきお

「戦争法は憲法違反であり無効」と元公明党二見伸明副委員長や、創価学会員が安保法制に反対するデモに参加。稲葉真一元自民党都議は「安保法制はまさに戦争法です」と発言していることを紹介。住民の安全を守るべき区議会議員の良心と初心に戻るよう求めて奮闘しました。

江北高校定時制廃止してはいけない！夜間定時制は学びの安全網

西の原えみ子

江北定時制高校は、全日制に通うことが出来ない生徒の大切な受け皿です。

様々な境遇の中で学びたいという気持ちをすくい上げ、学びの場を保障していくためにも江北高校の定時制は廃止すべきではないと迫りました。

人口増えるのにつぶすのか 高野小・江北小は存続すべき

鈴木けんいち

高野小学校と江北小学校を廃校にし統合する区の計画は、当面人口が増えることを区も認めているのに道理がなく、子どもたちが生き生きと勉強する小規模校の良さを失い、避難所もなくすなど認められないと、存続を求める陳情の採択を求めました。

区長提案の議案（59本）に対する各党の賛成率

自民党	100%賛成
公明党	100%賛成
共産党	81%賛成
民主党	100%賛成

★日本共産党が条例提案した「子どもの医療費助成の充実」は継続審査、「保育料の引き下げ条例」は自民・公明・民主が反対して否決となりました。

区民からの請願・陳情に対する各党の態度（意見の分かれたもの）

高野小学校の存続を求める陳情	高野小学校・江北小学校の学校統廃合計画中止に関する陳情	都立江北高校定時制の存続を求める意見書の提出を求める陳情	沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設の計画断念と工事の中止、代執行裁判の提訴取り下げの意見書提出を求める請願	安全保障関連2法（戦争法）の廃止を求める意見書提出を求める請願	「はだしのゲン」の自由閲覧の維持を求める陳情	不採択になった請願・陳情名
×	×	×	×	×	×	自民
×	×	×	×	×	×	公明
○	○	○	○	○	○	共産
×	×	×	○	○	×	民主
不採択	不採択	不採択	不採択	不採択	不採択	結果

※「放射能対策」「原発再稼働ではなく自然エネルギーへの転換を」「学校の木質化」「認可保育園の増設」など24件が継続審査に。

※足立区議会民主党は、4月1日から足立区議会民進党に変更。